

## 林業アカデミーの活動を世界へ情報発信中!

今年は何年と違い、梅雨がなく夏が早く来てしまったため、4月に植えた苗木が水不足もあり枯れてしまい、秋に補植することになりました。また、除伐・枝打ち・下刈りといった体力的に厳しい造林仕事も、予想以上の気温の高さから例年以上にハードな実習になってしまいました。慣れない作業と暑さの二重苦のなかで、それぞれが無理のない範囲で自分に厳しく今後も実習に取り組んでほしいです。今年の学生は生活面も積極的で、町内で農業や観光関係のアルバイトなどに精を出し、家の内外で迫りくる虫と格闘しながら日南町の生活を楽しんでいます。働き手不足と農業などの季節労働の多い日南町にとって、人手不足解消にアカデミーの学生が一役買っていることは、当初は予想していなかった良い効果だと思っています。

林業アカデミーの日々の取り組みは、主に学生たちが記事を書き、SNS（フェイスブックやインスタグラム）にて世界に向けて発信しています。さすがに毎日とはいきませんが、率直な感

【林業アカデミーHPアドレス】 <https://nichinan-ipc.or.jp/forestry/>

問 にちなん中国山地林業アカデミー TEL 84-0070



想などを写真付きで解説していて、大登山や日南町の隠れスポットなど、林業を知らない人でも楽しめる内容も時々ありますので、ぜひご覧ください。林業アカデミーでは、すでに来年度の学生募集活動も始めています。今後の主な活動は、オープンキャンパス（8月20日、9月24日）と東京・新橋での林業就業セミナー（8月21日）です。また、他の日でも随時学校紹介を行っておりますので、お気軽にご連絡ください。

### 獣害対策 アップデート

### 第13回 忌避グッズ 効果は如何ほど②

日野郡鳥獣被害対策協議会  
川野 風花  
【問合せ】 72-1399

前回のイノシシ忌避グッズ効果の話に引き続き、今回はイノシシ忌避グッズが逆効果になってしまう場合についてお話していきます。

忌避剤としてよく見かける木酢液やコルタールは、独特な刺激臭で動物を寄せ付けないと言われていています。しかし、イノシシを用いた効果実験によると、怖がるどころか体に擦り付けると、なめるなどの反応を示しました。どうもダニなどの虫を落とす防虫効果を狙っているようで、臭いによる忌避剤の使用はイノシシを誘引してしまう可能性があります。

他にも光でイノシシを驚かせて追い払うグッズもありますが、本来昼行性のイノシシは光が苦手ではありません。グッズ設置による環境変化に慣れてしまうと、点灯する光はむしろ農作物周辺を明るくし、食べ物を見つけてやすい環境を作り出してしま

うこととなります。

最後にもう一つ、ピンクテープについてです。このテープは作物を囲みイノシシを警戒させるといった使い方をされています。しかし、テープに触れてもなにも起こらないと学習した個体は、まったくテープを恐れるなくなりません。それどころか、農地周りのテープに触れても安全なことを覚えてしまうと、電気柵に対しても警戒しないようになります。突破してしまうことがあります。ピンクテープは電気柵の効果を半減させてしまう可能性があるのです。

このように、忌避グッズの使用は逆にイノシシを呼び込んでしまう場合がありますので、お気をつけください！

